学校番号	T3005

平成31年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	新編国語総合　改訂版　（大修館）						
副教材等	無						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・休まずに毎日出席し、授業時間中は集中して授業に取り組むこと
・日々の課題は原則としてその日のうちに提出すること。間に合わない場合でも考査前には提出すること
・言葉の使い方、話の聞き方を学ぶ科目である
・定期考査ごとに学習範囲を告知するので、自分なりに計画を立てて復習すること

2　学習の到達目標

表現能力を伸ばし、伝え合う力を高める
思考力・想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、言語に対する関心を深める
社会生活の充実を図るために、自ら表現しようとする態度を身につける

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：話す・聞く能力	c：書く能力	d：読む能力	e：知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めると共に、言語文化に対する関心を深め、その向上を図ろうとする	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深めている	相手や目的に応じて表現を工夫した文章を書き、自分の考えを適切にまとめ、表現している	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている	言葉の特徴や決まり、それぞれの役割を適切に理解している
評価方法	出席状況 授業態度 記述の確認 （ワークシート） グループワーク	授業態度 記述の確認 （ワークシート） 実技（スピーチ） グループワーク	記述の確認 （ワークシート） 定期考査 作文 感想文	授業態度 記述の確認 （ワークシート） 定期考査	記述の確認 （ワークシート） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
4 5 6 7	言葉を学ぶ	教材： 「言葉を増やそう」 ワークシート	○	○	○		○	a：学んだ言葉や表現を積極的に使おうとしている b：学んだ言葉や表現を使って、場に応じた話し方を身につけている c：様々な表現を駆使して文章を書き、より伝わりやすい表現を身につけている e：敬語や漢字などの語いを増やし、ことわざ・慣用句などの表現を理解している	a：出席状況、授業態度 ワークシート b：授業態度、ワークシート スピーチ c：ワークシート、作文 定期考査 e：ワークシート、小テスト 定期考査
9 10	文章を要約する	教材： 「ワンダフル・プラネット！」 「水の東西」	○		○	○		a：作品にあるメッセージを自らのことに置き換え考えようとする c：筆者の主張を短く要約できている c：自らの意見を、伝わりやすく表現している d：指示語の内容、文章中の要	a：出席状況、授業態度 感想文 c：ワークシート、感想文 定期考査 d：ワークシート、定期考査
11 12	意見を主張する	教材： 「羅生門」	○	○		○	○	a：自らの主張をわかりやすくまとめ、伝えようとしている b：自らの主張をわかりやすくまとめ、伝えている d：人物、情景、心情などを整理して読みとれている e：独特の言葉や表現の働きを理解している	a：出席状況、授業態度 グループワーク b：ワークシート グループワーク e：ワークシート、定期考査
1 2 3	古典入門	教材： 「古文に親しむ」 『枕草子』 「にくきもの」 「訓読のきまり」 「故事　守株・蛇足」	○			○	○	a：古文、漢文の基本的な読み方を理解しようとし、様々な古典に触れようとしている a：古典の中にある教訓を、今後の社会生活に役立てようとしている d：古典を適切に理解し、その中にある教訓を理解している e：古文、漢文を読むための決まりを身につけ、正しく使いこなせている	a：出席状況、授業態度 ワークシート d：ワークシート、定期考査 e：ワークシート、定期考査

※表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：話す能力・聞く能力
c：書く能力　d：読む能力
e：知識・理解

※年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）ですべての観点について評価することになるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている